

# お茶の時間 心に響く言葉 4

第125号 2016.8.9 (1)

12年前、21歳の若者が発した言葉が今でも輝いている。開催中のリオか、どんた言葉が聞こえてくるだろうか。皆が頑張っている。

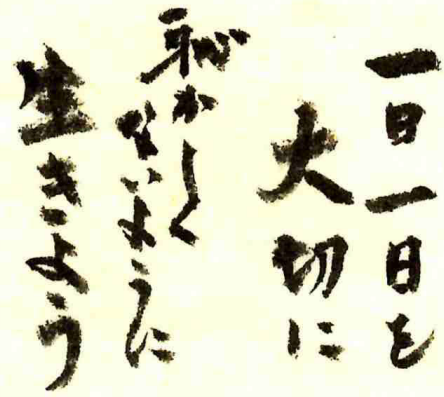


2004年 アテネオリンピック、競泳、男子100m平泳ぎで金メダルを獲得した時の北島廉介選手の言葉。

ここに響く言葉

第124号 2016.3.13 (1)

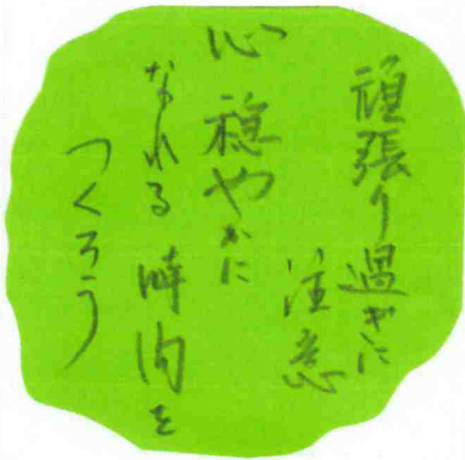
五年前の、東日本大震災で妻と娘を亡くされた方の言葉だ。二人のためにも、もうありたい。



ここに響く言葉

第127号 2017.1.6 (1)

料理研究家 門倉タニアエの言葉。全体のバランスをとりながら料理に費やすエネルギーも考えたいと幸せな感情は生まれたい。どんな場合にも当てはまる。ドイツ人の母と、日本人の父を持つバランスをとる 匙加減が...むずかしい。



ここに響く言葉

第126号 2016.10.15 (1)

シズル演出家・細井 威良之の言葉。食品を焼いたり、揚げたり、むいたり。そのコマンドを叩いていくだけで、五感が刺激され、食欲がわいてくる。TV番組の中で、司会者が「人生で成功するために必要なことは、この問いに細井さんは「背伸びをしないほうがいい。そのためには自分の頑張りと、努力も必要」と返答。やはり努力が...

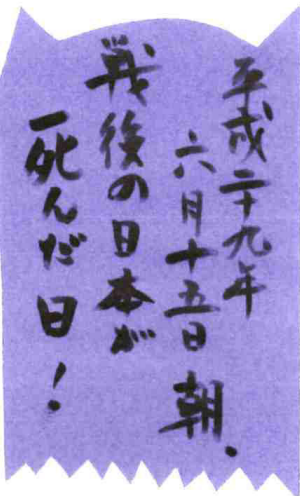


ここに響く言葉

第129号 2017.8.7 (1)



委員会採決を省略する「中間報告」という禁止手段で共謀罪法が成立した朝、ニュースを聞きながらため息まじりに夫が言った。強心に残った。救いの力で行った改正組織犯罪処罰法。可決を聞き、私も虚脱感に襲われた。日本はどうなっているのだろうか。森友学園、加計学園、国会議員の失言など首相からの問題が次々出てくるが相変わらず曖昧のまま。内閣改選後の安倍首相は深々と頭を下げて、上野の反省を求めた。職責の大きさをわかっていようかな。私は総理大臣です。うーすん、このよねえ。誰か選んだの？

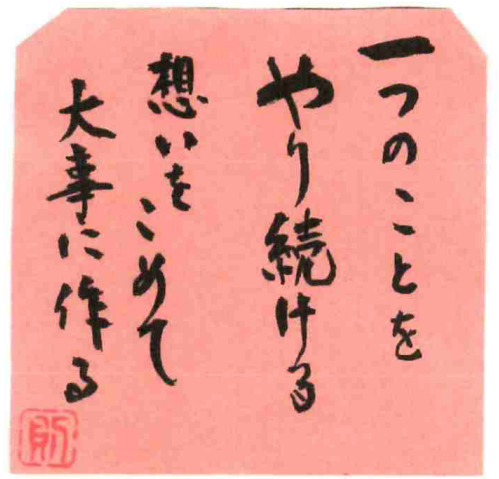


心に響く言葉

第128号 2017.3.9 (1)



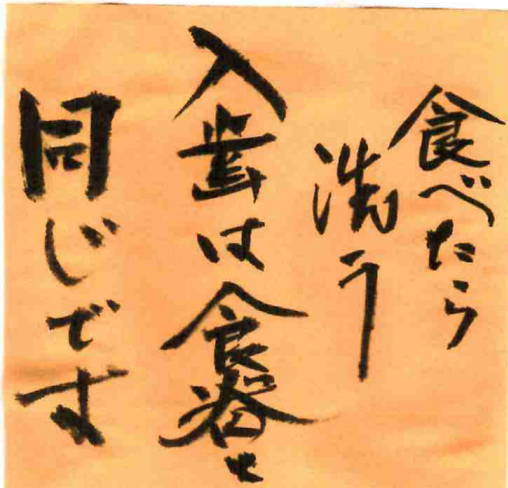
歴史的建造物を復元、海外でも活躍する左官職人、久住有生さん(44才)の言葉。「手間暇かかるといいますが大事なことですね」と言葉は、続ける。各分野で活躍する人たちは、日々の努力を惜まない。毎日あたたか暮らしているが、続けることって大切だと改めて思った。まだまだ、これから。



ここに響く言葉

第131号 2017(H29).12.15 (1)

こんなことを当たり前に、と思うが毎食後、必ずして洗うことを怠る人が多いようだ。手拭き、口鼻やカビを招くと、心も食事も、入歯の下に入らな、食べかすは、残して洗う、口内全体をすすぐ。汚れたままの食器は使わないで、面倒からず洗います。

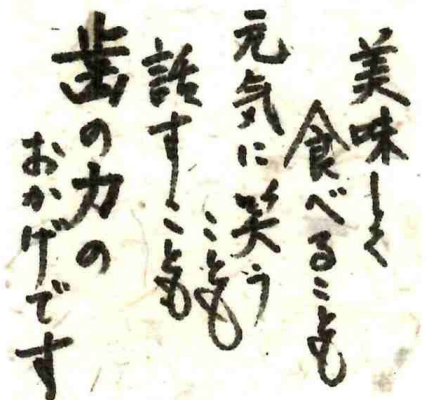


心に響く言葉

第130号 2017.10.19 (1)



歯科雑誌に掲載の「歯の学校」より抜粋。11月8日は、いい歯の日だ。患者さんたちから「もも」と歯と大事にすれば良かった。歯で大切にするね。の音が聞えた。若い親たちも、着る口の口の歯のチェックに熱心である。小さい頃からの歯の掃除のための歯磨きも、給食の内容も良い。笑顔の子が多い。こまめな歯のおかげです。



心に響く言葉